## 本水道新聞 2025.09.04

2025年9月4日掲載

昭和29年2月9日 第三項郵便物認可

3

同で実施することで、情

不足で虚影化生ま問題

う照定を締結した。特定になっている。産労群島 - 実許実験の実施。 に伴 による業務対率化が急務 関連業務のDX化に向け、携わる人材不定は慢性的

エリアの複数自治体が合一の各自治体でも、検針量

た一水道スマートメーターな課題で、D文化の推進 支店は30月80日、上水道一る。そうした中、事業に

| 透陽水道機針サービスの | 針アータは、NTTテレ

|提供およびデータ化(N|コンの基投局アンテナが 丁酉日本語は支店。> | つになる。これにより検

| 丁丁・ションカ州支持 | 受信後、各自治体が集中

-で役割条4種。各日

監視センターのグラウド

和狛町、知名町、与錦町) 戸内町、龍郷町、喜界町、

腹・道路・公道などの 地方自治体では、公共

善市、大州村、宇後村、湖 金森語の記念

期間は来年5月まで。

塩 ハーテレコン 斜 NTT西日本受印息支

業費などが増加傾向にあ インフラ整備に関わる事

報共有的共同検証を可能「意識を描えている。スマー構夫(NTTテレコン制) ンロードができるような

58カ所に設置する。 と電子式水道メーターを

仕組みとしている。

また、通帰大蔵の

NTTPコでのSIM一アラート設定できる機水一

今後、業務な変化の対

规定支持线 中層件機長

した水道メーター遠隔検一个を守るほか、坂の上な 供用を視システムを活用してるハブから検針目の必 としながら、通信権表と「メの設置を通じて、生真 第6008号

奄美9自治体

NTT 100% 集中監視セ通じて

- および上下水道義務のDーて、各口治体が水道メー・コストの削減もよび人員 >水道検針データの分析 クラウドサーンスを介し イールド提供(各自治体)・シの集中監視センターの している。 業務の効率化による様針 この効果だして又焼け 治体の水道関係部ではメ 災害への対応で、住民が サービスへの週、長

| 治体5方形を自造に通信| サービス・下で覧となり 期待される。業務の稼働 X化に向けた機割(NT ターを遺跡機針できる。 | 不足の解消ン

影検針の

解 | 図的版 に置すると 削減が住民サービスの向 一湾マ蛇目の閉め忘れや湯 定を行っていく。 ーを図る定量的な効果部 車両等の排出する、「職化 発見や検針時に利用する 水がによるこうブル早期 町長、山地東天与輪町長、 和加州人、今升力大多 竹田泰典龍郷町具、陽崎 長、鎌田愛人銀戸内町長 和松枝、元山公和子機科 平金美市長、伊集院站人 検討したい考え。 スト削減等と関しても ターの共同制権によるコ ーピスの向上に向けたり れた間点では、安田社 以上BUTTETA 悦男喜弄町長、 動琴表頭 Xの推進、スマー・メー 暦記録市内で執り行わ

針に取り組む。実証実験との検針因難簡所での音が入った通信端末を書子 挙にスマメ実証 のを緩和したいねらい。一式水道メーターを接続す。一ル寺で道知するように 実に実験ではV変配プーをとで、NTTテレコ や一定量が使われ続けて 内に水の使用がない場合 も期待される。設定期間 いる場合に、異変を各自 交換する。また、見守り

性が早期発見されること 漏水等のトラブルの可能

警報の機能を活用するこ ら、特定エリアにおける 果を定量的に評価しなが 各自治体で共有して情報 大から収集するデータを の特性を生かし、連ば 機数自治体での実証実験

が出席。極定言に変え TTテレコン九州支信長